



Weねっと



和歌山県介護支援専門員協会 西牟婁田辺支部
〒646-0028 田辺市高雄1丁目23-1
(田辺市田辺地域型地域包括支援センター内)

【61号】

平成30年度
5/8号

TEL 0739-26-9906 FAX 0739-25-3994
e-mail houkatu@city.tanabe.lg.jp

<和歌山県保険医協会紀南支部第27回総会記念講演>

～「穏やかな最期」を迎えるため～に参加して

平成30年8月25日(土)15時～16時30分 シティプラザホテルで老人ホーム同和園附属診療所所長 中村仁一先生による講演が開催されました。「生来人間には穏やかに死ぬる仕組みが備わっている」「死ぬ時は枯れる、枯れて死なせるのが一番楽で自然で穏やか」「強制的に水分や栄養を補給する延命治療や無理に口の中に食べ物を押し込む延命介護は妨害行為なのでこれらは辞退すべき」「日本人は死を考える事を嫌い、医療に過大な期待を抱いて最期までするがため悲惨な死を迎えている、出来るだけの手を尽くすは可能な限りの苦痛を味合わせる」という内容でした。また、医療・介護職関係者は自分たちが行う措置、行為が本当に本人の利益になっているのか、家族や自分たちの満足のためにしているのではないかという言葉が印象に残りました。「死ぬときは枯れる」「食事介助は延命介護」は「死に時がきたから食べない」という事を私たちは理解しないといけないでしょうが、弱っていく人を目の前にそれを受け入れる事は、頭で理解しても判断に迷い、その状態が不安を募らせてしまうので日頃から、ご本人や家族の意思を確認していくことが必要だと改めて思いました。

《インタビュー》 参加してくれていた方に講演内容についてお聞きしました。

- *→治していくための治療には限界があるということ、それを伝えていく難しさもある。自分も医療に助けを求めてしまう場面があるが、医療に求めても限界があることを知る機会となった。 経験5年目 女性
- 日頃から「死」について家族で話し合い、本人が「死」に対してどう思っているのか？を確認していくことが大切だということ、穏やかな最期を迎えるためには家族の理解も重要だということがわかりました。 経験10年目 女性

■次回研修のお知らせ(※詳しくは事務局からののお知らせ、もしくは支部ホームページをご覧ください)

☆定例研修会(施設ケアマネ対象研修)

日時:平成30年10月27日(土) 13:30～16:00

内容:身体拘束について

場所:特別養護老人ホーム 愛の園

講師:雑賀 正彦氏(高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 助教)

“西牟婁田辺支部”で



☆12月5日(水)午後、おなじみ稲松真人先生をお招きして定例研修会を開催予定です。テーマは検討中ですが、ぜひ参加を!

事務連絡

◆Weねっとをはじめとする事務局からの連絡事項は、原則FAXにて行ないます。

その際、以前に送付確認させて頂いた宛先(事業所等)に送信いたしますので、その後は確実にそれぞれの会員のお手元に届くよう事業所内でご配慮お願いいたします。

※送付先変更等は随時、お知らせください。



※たくさんの方が会員になっていただくことで、協会の運営基盤が強化され、研修開催や意見の発信をしていく等の活動が支えられています。お近くに、入会されていない介護支援専門員さんがおられましたら、入会の声掛け、よろしくお願ひします

(9月7日現在 西牟婁田辺支部会員数193人)